

2025年度事業計画(案)

1. 全 般(基本方針)

行動指針に則り、環境対応、人材確保、技術向上等について、コミュニケーションを図りながら、業界と会員の持つ課題を繋げ、業界に資する活動を行う。

2. 本年度の重点活動

- ・ 業界と会員の課題解決の為の組織を、会員とコミュニケーションを図りながら構築する
- ・ 会員とコミュニケーションの活性化を促進するよう、呼び水として講演会の施策を実施する
- ・ 独自統計を会員とコミュニケーションを図りながら継続的に取っていく。表面処理については会員とコミュニケーションを取りながら復活させる。
- ・ 価格転嫁及び取引適正化について、会員とコミュニケーションを図りながら、対応について議論する
- ・ 団体が持つネットワーク(人脈)を形成し、業界活動に資する形にしてい
- ・ 発信ツールについて、一層の整備を進める
- ・ 加工と表面処理のインターフェイスを狙って、加工領域について組織化を検討する
- ・ 魅力のある中身を揃えながら、新たな会員を勧誘する
- ・ ISO、JIS 等の標準化の改訂のアイデア出しに取り組む
- ・ 共通課題の研究に継続して取り組む
- ・ 外国人材の円滑な確保、受入について、議論をする

2. 各部会における事業

会費使途の透明化の為、受益者負担を原則とした部会毎(表面処理部会、家庭日用品部会、はしご脚立部会、共通)の特別会計を導入し、組織を再編している。

※ 家庭日用品部会の委員会活動は、家庭日用品部会に統合した

社員総会

理事会

業務委員会

はしご脚立部会

家庭日用品部会

表面処理部会

はしご脚立技術委員会

・ JIS S 1121改正原案作成委員会

はしご脚立基準認定審査委員会

表面処理工場環境委員会

建材表面処理規格委員会

・ 表面処理技術研究WG

ISO/TC79/SC2国際事務局

・ ISO国内対応委員会

・ 陽極酸化皮膜特性評価委員会

JIS H 8601 8602改正原案作成委員会

1) 共通

理事会を年4回、業務委員会を年5回開催する。業界に資する企画とは何かを念頭に企画立案をしていく。

テーマ	2025									2026		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総会		○										
理事会	○			○			○			○		
業務委員会	○			○			○			○		○
日工協 定時総会・運営委員会		○			○				○		○	
軽金属4団体賀詞交歓会準備委員会							○			○		
アルミ製品需要調査会											○	
官公庁との折衝業務	—											▶
他団体との折衝業務	—											▶

2) 表面処理部会

長らく休眠状態であったが、利害関係者と意見交換を行い、活動再開を目指す。環境評価方法について、会員とコミュニケーションを図りながら、業界としての方向性を議論する。海外の動向潮流を調査し、海外視察の企画や海外との交流会開催などの土台づくりをはじめめる。

① 建材表面処理規格委員会

建材表面処理規格委員会及び技術研究 WG の活動は以下のテーマを重点に進める。

- ・JIS H 8601、JIS H 8602 改正に向けたフォロー
- ・JIS 次期改正に向けた取り組み(中長期計画の立案)
- ・2012 年開始 世界 7 カ国屋外暴露試験の 10 年経過報告書まとめ(WG)
- ・協会発行資料のレビューと内容の見直し
- ・アルミ建材表面処理仕様別生産量調査

テーマ	2025										2026		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
JIS H 8601、8602 改正フォロー	→	→			→	→							
	最終原案確認				専門委員会対応								
JIS 次期改正に向けた取り組み				→								→	
				中長期計画立案									
2012 年開始世界 7 カ国暴露(WG)													
① 促進試験と暴露の相関報告書	→	→	→	→	→	→							
② 粉体塗装の考察報告書	→	→	→	→	→	→							
③ 取手暴露考察報告書	→	→	→	→	→	→							
④ 10 年暴露報告書	→	→	→	→	→	→	→	→					
協会発行資料のレビューと見直し				内容確認						→	→	→	
						修正・発行							
アルミ建材表面処理仕様別調査					→	→	→	→	→				
委員会開催 規格委員会				○	○			○				○	
表面処理技術研究 WG					○			○				○	

② 表面処理工場環境委員会

昨年に引き続き、新しい JIS Z 7253 (2019 年版)に対応した SDS (安全データシート)の書式改定作業への取り組みを実施する。

テーマ	2025									2026		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
SDS 9 品目の見直し	――	――	――	▶	――	――	――	▶	――	――	――	――▶
委員会開催				○				○				○

③ 標準化事業

- ・本年度も経済産業省の補助金を受けて実施する(3 か年計画、2 年度目)。

〈ISO 国内対応委員会〉

1. 定期見直し

以下の 3 規格について、改正の必要性を検討して投票する。また国際幹事として投票結果をまとめて報告する。

- ・ISO 2106 質量測定方法
- ・ISO 2376 絶縁耐力試験方法
- ・ISO 18771 クラークテスト(ガラス研磨紙を使用する耐摩耗性試験)

2. 作業項目

以下2プロジェクトについて、国内の意見を取りまとめて投票・会議の検討に反映させる。

- ・ISO 3210(封孔度試験方法:酸水溶液浸漬試験)の改訂 PL:Dr. Fontinha(ポルトガル)
- ・アドホックグループ(アルミ陽極酸化皮膜及び有機塗膜分野での気候変動への取り組み)

コンビーナ:大中委員長 エキスパート:村井委員

〈国際会議の開催運営〉

国際幹事、議長、WGコンビーナとして本年 10 月に開催予定の国際会議に向けて開催の準備、当日の議事運営を行う。

テーマ	2025									2026		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
委員会開催												
国内対応委員会			○		○			○			○	
国際会議準備委員会						○						
国際会議							○					

◇JIS H 8601 並びに H 8602 改正原案作成分科会

- ・2024 年 12 月に提出した規格原案について、JISC (日本産業標準調査会) 専門委員会での検討に合わせ、コメント対応などを検討し、公示までフォローを行う(会議開催なし)。

テーマ	2025									2026		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
規格協会・専門委員会対応	――	――	――	――	――	――	――▶		公示			

3) 家庭日用品部会

- ・有機ふっ素化合物 PFAS の報道を契機とした風評被害について、外部団体との連携し、引き続き注視して対策を検討する。
- ・JIS S 2010(アルミニウム製加熱調理器具)について出力 3kW を取り入れた SG 基準との整合に向け JIS 素案を準備する。性能として離型性や耐久性について再検討し、適用範囲にセラミック塗装を追加する。
- ・下請法改正検討や物価上昇に伴う取引適正化について、まずは部会員アンケートを実施して商習慣ふくめた現況を把握し今後の対応を検討する
- ・アルミと健康連絡協議会は、日本アルミ協会・アルミ缶リサイクル協会・当協会の3団体による任意団体であり、(株)UACJ、(株)神戸製鋼所、日本軽金属(株)、東洋アルミ(株)、(株)UACJ 製箔、アルテミラ(株)をメンバーとした連絡協議会である。アルミニウムに係わる健康上の問題についての国内モニタリング(風評被害)と対策及び IAI 等国際的な機関との意見交換を行う団体である。アルミに関する風評被害が、過去、1業界を衰退に追い込んだ事実を重く捉え、今後もアルミの健康に関する懸念点を、この連絡協議会を通して対応する。

テーマ	2025										2026		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
特定PFAS風評被害対策	—											➡	
JIS S 2010 改正検討	—											➡	
取引適正化アンケート		○											
部会・委員会開催			○			○		○			○		
アルミと健康連絡協議会								○					

※家庭日用品部会とアルミ調理器具品質委員会は同日開催

4) はしご脚立部会

部会において、年度の活動レビュー及び次年度予算を審議する。

①はしご脚立技術委員会

本年度の活動は、以下のテーマを重点に進める。

- ・A マーク<作業台>基準制定 →基準作成、検査マニュアル作成、検査成績書作成
- ・製品安全協会 SG 基準改正協力 下記技術委員会からの要望を反映させる
 1. はしごの C6 寸法関連(最上段階ざんのない製品)も盛り込むこと
 2. 取扱説明書の提供方法に QR コードによる提供も可能とすること
 3. 伸縮脚付きの安定角度測定方法を JIS 規格に統一(測定時の脚の伸縮状態)
 4. 基本すべての JIS 規格と整合
- ・取説の製品への添付に関する基準制定(二次元コード使用等)
 - SG 基準改正も視野
- ・啓発 POP の時代に合わせた刷新

また、中央労働災害防止協会発行の各種冊子改訂があった際は適宜確認を行う。

テーマ	2025									2026		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
はしご脚立部会												○
SG 基準改正への対応	→								→			
作業台 A マーク基準作成及び取扱説明書、ラベルの作成	→											→
委員会開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔その他〕

- ・ 発信ツールとしてメルマガ「軽金属通信（仮称）」を立ち上げる。各種統計について、会員と意見交換をしながら構築、配信する。
- ・ 講演会を積極的に企画実施する。

以上